



(題字・野口孝重先生)

発行所 名城大学電気会

名古屋市中区塩釜口一丁目501番地  
電話(052)832-1151  
名城大学理工学部電気電子工学科内

編集責任者 伊藤 栄

印刷 西濃印刷株式会社



## 名城大学電気会第46回通常総会のご案内

名城大学電気会会長 伊藤 栄  
(I部50年卒)

電気会会員の皆様には、各方面でご活躍のことと深くお慶び申し上げます。また、日頃本電気会の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災による悲惨な年であり、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。そして、今年が目覚ましい東北復興の年となることを祈念いたします。

タイの大洪水の影響、ギリシャ国債の暴落によるEU諸国の経済危機および為替の円高による影響を受け、我が国は厳しい経済状況が続いています。このような状況は、まだまだ今後も続くものと思われませんが、ものづくりの中核をなすこの地区においては、様々な努力をすることでこの難関を突破できるものと信じております。

昨年度の電気会における活動内容は以下の通りです。

1. 理工同窓会、電気会第45回総会 平成23年6月19日
2. 研究室対向ソフトボール大会支援とOBチーム参加 平成23年9月10日
3. 第18回電気会新春懇談会 平成24年1月21日
4. 卒業研究発表と電気会から聴講 平成24年2月24日・27日
5. 電気会電気電子工学科卒業式・卒業祝賀会 平成24年3月16日
6. 役員会、50周年記念行事実行委員会・評議委員会開催 1回/月
7. 電気電子工学科先生との意見交換会 平成23年11月10日
8. JABEE外部評価者懇談会
9. 名城大学電気会ホームページ更新 随時

昨年度は、特に平成25年1月27日(日)に開催する電気会50周年記念行事に向けて、様々な企画を検討する実行委員会を立ち上げました。記念行事を大盛況とするため、多くの皆様のご協力とご参加を電気会役員一同期待しております。

また、新しい企画としては、名城大学出身の先生がここ数年で少なくなり、新任の先生がお見えになったことから、より交流を深めるために電気会と電気電子工学科の先生との意見交換会を開催いたしました。そして、先生方には、今後も親睦を深めるために、毎年恒例の新春懇談会への参加をお願いしました。大変和やかな時間となりました。

電気会のホームページでは、電気会の様々な活動、行事に関し、写真を多く載せて情報を発信しています。この写真は、趣味が高じてプロ用機材を駆使する電気会役員が撮影しておりますので、他の学科のホームページに比べて一番の出来であると思います。電気会の活動へ参加頂き、ホームページの写真に一人でも多くの皆様が掲載されることを望みます。また、会員の中で、公的に受賞されるなど、活躍されている方がお見えでしたら是非ご紹介願います。このようなトピックスを数多く掲載していきたいと考えています。

電気会会誌については、現在、隔年(2年に1回)で発行しています。隔年とした理由は、宛先がわかる会員全員約7,000部を郵送しますと、電気会の年間費用の多くを支出することになるためです。電気会では、費用削減をさらに進めるため、会誌をホームページに載せる、または、電子メールで転送することを検討しています。会員の皆様でパソコン等を利用されている方は、ぜひ電気会へメールアドレスの連絡をお願い致します。

さて、最近では、技術が高高度化、複雑化する傾向にあり、1企業のみでは技術革新が困難な状況と言われています。そこで、産・官・学が、互いに協力して技術開発や研究を行う、すなわち共同研究の必要性が高まっています。本電気会のさまざまな行事に参加頂き、交流を深める中で、共同研究への契機や会員同士の新しい企画・商談が生まれることを期待します。是非、本電気会を活用して頂ければ幸いです。

電気会役員の皆様には、私が会長となってから色々のご支援頂き、また、電気会の行事を盛り立てて頂いており心より深く感謝しております。

電気会の役員および評議委員は、全員が明るく朗らかな方の集まりですので、気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。また、電気会役員の方返りを計画しておりますので、電気会の活動にご協力くださる方はぜひ、役員としての参加をお願いいたします。

最後に、皆様方のご健康と、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。また、今後とも名城大学および電気会を盛り立てて下さいますようお願い致します。

第46回通常総会は、今年も昨年度と同じ時期の6月17日(日)に開催することになりました。是非出席して頂きますようお願い申し上げます。

### 名城大学電気会第46回通常総会開催要領

日時 平成24年6月17日(日)  
受付: AM 9:00~  
開始: AM 9:30~10:20  
受付でご芳名を記帳願います。

場所 名城大学 共通講義棟南館 S401室

- 議題: 1. 平成23年度経過報告  
2. 平成23年会計報告、監査報告  
3. 電気会役員、評議員改選  
4. 平成24年度事業計画及び予算案  
5. その他



## 電気電子工学科長あいさつ

電気電子工学科長 多和田 昌弘

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、平素、皆様には電気電子工学科発展のために格別のご援助を賜り、紙面をお借りして厚くお礼申しあげます。この3月で学科長を仰せつかってから2年になり、任期満了となりましたが、再度学科長に選出され、あと2年(平成24年4月～平成26年3月)学科長を継続することになりました。引き続きよろしくお願いたします。

最近の理工学部近況をお知らせします。平成25年から、現在の9学科(数学科、情報工学科、電気電子工学科、材料機能工学科、機械システム工学科(平成25年から機械工学科に名称変更)、交通機械工学科、建設システム工学科(平成25年から社会基盤デザイン工学科)、環境創造学科、建築学科)に加え、応用化学科、メカトロニクス工学科の2学科が加わり、11学科体制になります。

それに伴い、カリキュラム改正などが行われ、学部全体が大きく変わろうとしています。

また、理工学部の新研究棟Ⅱが、4号館前に建設中で、平成25年度には完成し、この研究棟には、材料機能工学科、応用化学科、社会基盤デザイン工学科、環境創造学科、建築学科が入る予定です。

電気電子工学科は、建設時期は確定していませんが4号館跡地に建設される予定の新研究棟Ⅲに入る予定です。

以下に、学科の近況をお知らせしたいと思います。

### ・学科の近況

#### 1. 1名の先生が退職されました。

平成23年3月に、河村英昭先生が定年をまたずに、早期退職されました。河村英昭先生は、本学卒業生で、昭和40年4月に本学に奉職されてから40年を越える教員生活を通じて多くの卒業生を送りだすとともに、各種要職を歴任され、名城大学理工学部電気電子工学科の草創期を支えて現在の姿まで発展させて下さった功労者であります。どうか健康に留意され、これからも

学外から本学科発展のために、ご支援・ご鞭撻賜りますようお願いしたいと思います。

#### 2. 1名の新任教員をお迎えしました。

平成23年4月から新任の准教授として太田貴之先生をお迎えしました。太田先生については、本会誌に紹介記事が掲載されていますのでそちらをご覧ください。

ここ3年間(平成21, 22, 23年)で5名の新任の教員(教授2名、准教授3名)をお迎えし、本学科も大幅な新旧交代の時期になってきております。これからの10年間で10名の先生が定年退職を迎えられます。卒業生の皆様には、先生方が退職される前に是非、大学を訪問していただくか、1月の新春懇談会に出席していただき、先生方と旧交を温めていただきたいと思います。

#### 3. 1名の昇任教員と2名の異動教員がありました。

平成24年4月から村田英一先生が、助教から准教授に昇任されます。

平成23年4月から下山宏先生が、学長を任期満了で退任されることになり、電気電子工学科教授として戻って来られました。

平成24年4月から山崎初夫先生が、情報センターから電気電子工学科へ教授として異動になりました。

#### 4. 平成25年からコース制をとります。

電気電子工学分野は、電気エネルギーから情報・通信までの幅広い分野に渡る学問領域であるため、電気電子工学科では、一人一人の学生が早い段階で将来の進路に応じた有意義な学びを展開できるよう、「電気工学コース」と「電子システムコース」のコース制を導入します。「電気工学コース」では、電気エネルギーや材料物性の分野を中心とした教育を、「電子システムコース」では、信号処理、通信、計測・制御分野に組込関連分野を加えた教育をそれぞれ行いながら、社会の要請に応える優秀な技術者を養成していきます。

5. 平成23年から研究室体制が変わりました。

世の中の変化に伴って、平成23年4月から、40年以上続いてきました電子応用研究室の名前も消えることになり、以下のような新研究室名と構成員で出発することになりました。大学自体も変わってきておりますので、是非大学へお越しいただき、先生方との旧交を温めるのと同時に、大学の変化も見ていただきたいと思ひます。大学の代表番号を載せておきます。

☎052-832-1151

研究室名	資格	氏名	居室	内線番号
エネルギー・環境研究室	教授	1 大野 英之	2-138	5083
	教授	2 清水 教之	2-B01東	5072
	教授	3 山中三四郎	2-104	5078
	准教授	4 村本 裕二	2-B01西	5071
	准教授	5 飯岡 大輔	2-102	5077
電子物性・デバイス研究室	教授	6 下山 宏	2-101	5074
	教授	7 大江 俊美	2-215	5095
	教授	8 平松美根男	2-B04	5075
	教授	9 児玉 哲司	2-216	5096
	准教授	10 村田 英一	2-135	5109

最後になりましたが、電気会には、卒業祝賀会、教員との懇談会、ソフトボール大会への参加などで、大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

電気会会員の皆様の社会での一層のご活躍と電気会のみますますのご発展をお祈りするとともに、今後とも、電気電子工学科発展のために、よろしくご配慮を賜りますよう、心からお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

研究室名	資格	氏名	居室	内線番号
システム・情報通信研究室	教授	11 辰野 恭市	2-211	5090
	教授	12 都竹愛一郎	2-209-3	5088
	教授	13 中條 渉	2-209-1	5375
	准教授	14 林 和彦	2-136	5081
	准教授	15 山ノ井基臣	2-212	5082
	准教授	16 堀田 一弘	2-238	5092
電子生命情報研究室	教授	17 多和田昌弘	2-314	5087
	教授	18 伊藤 昌文	2-313	5085
	准教授	19 太田 貴之	2-217	5067
学科事務室	事務員	安田・中根	2-224	5070



## 新任ご挨拶

### 電気電子工学科准教授 太田 貴之

平成23年4月から名城大学理工学部電気電子工学科准教授として採用していただきました太田貴之と申します。

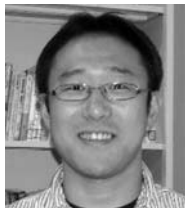
私は、静岡大学理工学部電気・電子工学科を卒業し、同大学院電気・電子工学専攻で修士課程を修了しました。MOCVD法を用いたInGaAs薄膜の成長や、プラズマCVD法を用いたシリコン酸化膜やダイヤモンド薄膜の成長など、電気電子材料に関する研究を行ってきました。その後、薄膜成長過程におけるプラズマケミストリーを解明するために、レーザなどの分光法を用いたプラズマ診断手法に着目し、名古屋大学大学院量子工学専攻において「プラズマプロセスにおける励起周波数の効果」に関して研究を進め、博士課程を修了しました。平成16年度に和歌山大学システム工学部光メカトロニクス学科に赴任し、助手、助教、准教授を経て、名城大学に赴任しました。現在は、“低温プラズマの産業応用”と“光計測”をキーワードに、透明導電膜やカーボン系薄膜の成膜や光ファイバを用

いた温度計測システムなどの研究を進めています。名城大学では、電子生命情報研究室に配属させていただき、生体や環境といった他分野と電気電子工学技術の融合させた、新しい技術の開発に取り組んでおります。

最近、講義においても研究においても、与えられたことしか行わない学生が多くなっていると感じています。前任校では、学生の自主性や創造性を喚起するために、自分でテーマを設定し活動を行う「自主演習」という取組(選択単位)に積極的に取り組んできました。研究や教育活動を通じて、その原理がどうなっているか、何を目標にどのように問題を解決したらよいかを自ら考えて解を探すことができる学生、社会で先頭に立っていける学生を輩出したいと考えています。

微力ではございますが、名城大学の発展に全力をつくす所存でございます。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





## 新任ご挨拶

電気電子工学科准教授 堀田 一弘

平成22年4月1日に名城大学理工学部電気電子工学科准教授として着任いたしました堀田一弘と申します。

茨城県の高校を卒業後、埼玉大学工学部に進学しました。卒研生の時に恩師のご厚意によって茨城県つくば市にある電子技術総合研究所（現在の産業技術総合研究所）に実習生として研究する機会を得ました。大学4年から博士課程3年までの6年間を電子技術総合研究所で過ごし、統計的パターン認識の研究に打ち込みました。パターン認識の代表的な応用例はデジタルカメラの顔検出です。最近では、多くの人がカメラ付き携帯電話と共に生活をしている時代ですので、撮影した画像から何かを認識するという需要は年々増えております。

埼玉大学で博士（工学）を取得後、電気通信大学情報通信工学科の助手となりました。電気回路シミュレーションの実験を主に担当しながら、機械学習やパターン認識の研究に励みました。学生達に積極的に外部発表をさせる指導方針を取り、修士課程に進学した学生のほとんどが国際会議で発表することができ

ました。また、学外の研究者との交流を積極的に行い、環境省の予算を基に顕微鏡画像から自動的にアスベストを検出する共同研究を行いました。最近では細胞生物学や医学の研究者達との共同研究も行っており、細胞内画像処理という新しい研究にも挑戦しております。名城大学着任後もパターン認識および異分野への新しい応用の研究に力を注いでおり、指導学生を積極的に国際会議で発表させております。こうした学外発表が学生達の自信となり、学習意欲が向上するものと確信しております。

教育の面では、制御工学Ⅰ、電気回路Ⅰ、情報基礎理論などを担当しております。名城大学着任当初は、非常に厳しい教育方針に少々戸惑いましたが、厳しく鍛え上げた学生達がたくましく成長している姿を見て、このような指導方針も良いのではないかと考えるようになってきました。学生達の能力を開花させるべく全力で教育して行きたいと思っております。

最後になりますが、名城大学ならびに電気電子工学科の発展のために全力で頑張りますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。



## 新任ご挨拶

電気電子工学科准教授 飯岡 大輔

平成22年4月1日より、名城大学理工学部電気電子工学科に准教授として勤務しております飯岡大輔と申します。専門は電力工学で、主に、再生可能エネルギー主体の電力ネットワーク技術の開発に従事しております。

生まれは北海道浦河町ですが、高校卒業までを札幌で過ごしました。高校卒業後、長年住んでいた札幌を離れ、名古屋大学工学部電気電子・情報工学科に入学いたしました。卒業後、同大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程前期課程、後期課程に進学し、修了後、同大学大学院工学研究科電子情報システム専攻の助手、助教として勤務いたしました。名古屋大学在職中に、アメリカ合衆国・フロリダ州立大学において客員研究員として半年間研究させて頂きました。帰国後、平成22年4月から名城大学において教育・研究活動を行っております。

名城大学赴任前まで、大電流制御に関する研究に取り組んできました。この経験を活かし、現在は「持続可能なエネルギー供給システムの実現」を目標として、「再生可能エネルギーが大量導入された電力系統」において、「高い信頼度」で、「高い電力品質」の電力を供給するために必要となる電力システム・電力機器に関する研究を行っております。最近の研究成果として、再生可能エネルギー発電設備の大量導入を実現す

るための要素技術である電力系統故障点標定手法の開発、送配電線電圧の高速近似計算手法の開発、送配電線損失低減を目的とした新しい電力機器の開発、などがあります。また、研究室では、実験に関する安全教育、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力の養成を目的とした研究室内報告会の実施と国内外の学会における発表を実施しております。「研究も遊びも常に全力投球」をモットーに、学生とともに研究に取り組んでおります。その成果かどうかはわかりませんが、昨年は電気電子工学科のソフトボール大会で優勝させて頂きました。

学部の教育では、電気回路理論1および2、エネルギー伝送工学、電気電子工学実験を主に担当しております。講義では、学生が楽しく講義を受ける環境をつくること、物理現象を理論的にわかりやすく解説すること、学生の目線から説明すること、の3点を心がけております。教員には簡単な問題でも、学生から見れば難しいことが多いと思っておりますので、その点への配慮を忘れないように努めます。

まだまだ経験不足・勉強不足の不熟者ですが、一生懸命に元氣よく研究および教育に取り組んでいく所存でございます。皆様の御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 名城大学電気会創立50周年記念行事のご案内

名城大学電気会が発足され、平成24年で半世紀の50周年を迎えることになりました。電気会の発足からこれまでの長い間活動を継続されたことは、諸先輩方の残された功績の賜物と深く敬意を表します。そして何より電気会の皆様のご協力のお陰であると、深く感謝いたしております。

電気会では、会員の皆様からの多くのご要望により、50周年記念行事を開催致します。記念行事を盛り上げるために、2年前から実行委員会を立ち上げて様々な企画を検討してきました。記念講演として、皆様もご存知であるCBCアナウンサーの小堀勝啓様をお願いしております。色々な経験をお持ちの方ですので、楽しくて笑いが絶えないようなお話をして頂けると幸いです。また、昔の懐かしい写真など盛り沢山の記事を掲載した思い出に残る記念誌を発行します。そして行事には、名城大学理事長を始め、多くの来賓者の方々、電気電子工学科の現職および退職された先生をお招きする予定です。当日の様子は、沢山の写真を電気会のホームページに掲載しますので、参加される皆様の思い出が残る日になると確信しております。是非、電気会の皆様でお知り合いの方、同期の方、会社関係の方とお互いにお誘い合せて、多くの参加者で盛大に開催したいと思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

テーマ：「希望に満ちて 光あり」

日 時：平成25年1月27日(日)

15時30分～20時(15時より受付)

場 所：名古屋栄 名古屋ガーデンパレス

会 費：8,000円

内 容：第1部 名城大学電気電子工学科のあゆみ  
「写真解説」米澤彰賢 15時30分～16時  
第2部 記念講演 CBCアナウンサー  
小堀 勝啓 16時10分～17時30分  
第3部 記念パーティー 進行は別途次第による。  
17時40分～20時

その他：50周年記念誌、お土産等参加者全員に配布

※参加をご希望される方は、同封の返信用はがきにその旨を記載し、事務局までご返送いただきますよう、お願い申し上げます。(参加を希望されない方は、ご返送いただく必要はございません)

<名城大学電気会事務局>

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

名城大学理工学部電気電子工学科 電気会 事務局

TEL 052-832-1151 (代表) FAX 052-832-1298

E-mail: hkmurata@meijo-u.ac.jp 名城大学電気電子工学科 村田英一

または、E-mail: sakae@nagoya-denki.co.jp 電気会会長 伊藤栄

## 第18回名城大学電気会新春懇談会開催

日 時 平成24年1月21日(土) 17時～20時

場 所 名古屋ガーデンパレス

内 容 ①ミニ講演会 3F 錦の間 講師：山田 祐司様 (株)シーテック 題目：「- 風力発電に携わって -」

②パーティー 2F 鼓の間

参加者 96名 (一般：36名 来賓：13名 役員：19名 大学院生：9名 OB教員：6名 教員：13名)

新春懇談会は、皆様のご尽力、ご協力により第18回を迎えることができました。今年も、開催場所は交通の便、2次会を行う場所として都合がよい名古屋ガーデンパレスと致しました。ご来賓の皆様をはじめ、多くの方々にご参加頂き、心より深く感謝いたしております。

今年は、電気会の若年層の活性化を図るため、昨年(2012年)3月に卒業された皆様(新規会員)の参加費を半額に、大学院生(M2)については無料としました。また、学内幹事の村田先生はじめ多く先生に参加案内のご協力をいただきました。その結果、両者で25名もの多くの方に参加して頂きました。このほか、ミニ講演会講師の会社(株)シーテックの皆様も、講師の応援を兼ねて多く参加して頂きました。また、今回は、特にここ数年で多く退職されました、大学OBの先生にご参加いただけるようお願いをいたしました。その結果、OBの先生を含み、計19名もの先生にご参加いただきました。皆様におかれましては、先生方とともに、卒業された当時の思い出話に花を咲かせられたことと思っております。

今回のミニ講演会は、(株)シーテックの山田祐司様にお願いたしました。「風力発電に携わって」という題目で、風力発電設備の概要について分かりやすく説明していただきました。現場施工時の写真説明においては、色々な周辺物と比較して風力発電のスケール感が伝わるように工夫されていたことが印象的でした。質疑応答も活発に行われて終了時間に間に合わないほどの大盛況でした。

パーティーは、はじめに、名城大学学歌を名城大学出身のキングレコード歌手杉野裕二様と副会長の開米様に音頭を取って頂き大きな声で斉唱しました。続いて電気会会長、電気電子工学科長、理事長、理工学部長、校友会会長代理から挨拶を賜りました。その後、理工同窓会会長より理工同窓会の各学科同窓会長の紹介を頂き、盛大に乾杯のご発声頂きました。歓談の途中では、理工学部後援会、大学の先生方、OBの先生方、50周年記念事業委員長、校友会大

阪支部部長、電気会のメンバーなどから自己紹介とご挨拶を頂きました。また、名城大学出身のキングレコード歌手杉野裕二様に、オリジナル曲を始め、なじみ深い曲を10曲程度歌って頂き、大変好評でした。

後半は、校友会大阪支部部長と電気会役員が壇上に上り、名城大学の応援歌を斉唱し大変盛り上がりしました。そして最後に、会計の渡辺様に張り切って締めを行って頂きました。

平成25年1月27日(日)は、新春懇談会に代えて、名古屋ガーデンパレスにて電気会設立50周年記念事業を開催します。目玉として、思い出に残る記念誌を作成して当日お配りします。また、CBCラジオのアナウンサー小堀勝啓様を講演会の講師としてお招きします。今回参加された皆様には、同僚・先輩・後輩・其々の会社の電気会の皆様をお誘い頂きますようお願いいたします。現在、200名ほどの参加を予定しておりますが、新春懇談会における前学長下山先生の挨拶では、少なすぎるから500名を目指して頑張ってくださいと激励の言葉をいただきました。

できる限り多くの皆様にご参加いただきたいと思いますので、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。



## 事務局から重要なお知らせ

## 1. 電気会会誌のホームページへの掲載

平成24年度から、電気会の会誌をホームページに掲載することといたしました。電気会の会員専用ページとなっておりますので、以下のユーザ名とパスワードを入力し、ご覧ください。

名城大学電気会ホームページ      U R L : <http://www.meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/>  
ユーザ名 : meijoden  
パスワード : denki12

## 2. 電気会会誌の送付について

電気会では経費節減のため、会誌発行部数をできる限り削減したいと考えております。

つきましては、今後も会誌送付をご希望される方は、本会誌に同封されているはがきに、その旨をご記入のうえ、事務局までご返送いただきますよう、お願い申し上げます。なお、はがきをご送付いただけない場合は、会誌の送付を希望されないものといたしますので、ご了承願います。

## 平成23年度 卒業証書授与式および祝賀パーティー

## ＜卒業証書授与式＞

日時：平成24年3月16日（金） 13時～15時  
場所：名城大学共通講義棟 S102室

## ＜祝賀パーティー＞

日時：平成24年3月16日（金） 16時～18時  
場所：名城大学6号館1階 グラン亭

名城大学全体の卒業式が愛知県体育館で行われた後、名城大学共通講義棟のS102室で電気電子工学科の卒業証書授与式が盛大に行われました。

はじめに、多和田学科長からお祝いの言葉が贈られました。親・家族、お世話になった恩師（ゼミナールの先生）への感謝の気持ちと社会に出ることの厳しさと職場での心構え、そして、若々しく情熱的に今でも研究に挑戦されている、文化勲章を受章された飯島先生、赤崎先生のように、色々な面で挑戦し、頑張りたいと励ましのお言葉が贈られました。

次に、伊藤電気会会長からお祝いの言葉が贈られました。名城大学の卒業生が、今回の卒業式で17万人を超えたことに伝統の深さを感じてほしいこと、そして、このことは、それぞれの職場やその周辺に、名城大学のOBが存在する可能性の高いことを意味し、困ったときの助けになることなどをお話されました。また、電気会の活動として平成25年1月27日（日）に名古屋栄のガーデンパレスで行われる電気会創立50周年記念事業への参加要請をされました。

祝辞が終わり、学科長から卒業証書を卒業生全員に手渡されました。卒業研究発表および大学院生修了研究発表で優秀な成績を収められた方々に、表彰状の授与が行われました。受賞者には、電気会からお祝いとして図書券5,000円をお渡ししました。また、電気会からお祝いとして名刺入れを卒業生全員にプレゼントしました。

今年も、先生方のご協力によって卒業生のほぼ全員に電気会へ入会していただきました。心より感謝しております。

卒業証書授与式の後、場所を名城大学6号館1階グラン亭へ移して卒業祝賀パーティーが行われました。電気会副会長の松野様が司会を行い、学科長、電気会会長が順に挨拶を行いました。来賓者として、理工学部後援会副会長の中川英人様に祝辞を行っていただきました。次に、教員の代表として下山先生と、OB代表として副会長の開米様の挨拶があり、乾杯は、電気電子工学科教授の大野先生に行っていただきました。

会の途中では、卒業生代表と修士修了生代表の挨拶がありました。また、研究室毎に壇上上がり、担当の先生から研究室の紹介並びに記念撮影が行われました。

最後に名城節を全員で斉唱し、中締めを電気会の渡辺様に行って頂きました。大変思い出に残る、楽しいパーティーになり、大学と電気会との絆がより一層深められたと感激しています。卒業生の皆様には、これから社会で大いに活躍されることを祈念いたします。

なお、昨年度に引き続き、東日本大地震義援金を、参加された皆様へお願いしました結果30,000円を超える貴重なお金を集めることができました。名城大学校友会を経由して寄付を行います。ご協力ありがとうございました。

当日の様様を名城大学電気会のホームページに掲載しますので、当日参加された皆様および関心のある方は、是非ホームページをご覧ください。





## 平成22年度 論文優秀賞・受賞学生

牧田 和也	学部	水分を含んだ植物油の交流絶縁破壊特性
池田 貴人	学部	紫外光照射下における酸化チタン薄膜の電子的特性
渥美 翔	学部	共焦点レーザー走査型顕微鏡を用いた植物細胞小器官の光応答解析
福島 拡介	学部	テラヘルツ波時間領域分光法を用いたカーボンナノウォールの特性スペクトルと複素誘電率計測
岡部 敏明	学部	SIFT特徴とBayesの事後確率を用いたメラノソームの追跡
徳竹 謙介	学部	冷電界放出型高輝度電子エミッターの検討
奥村 賢直	修士	直流電界が植物成長に及ぼす影響
杉山 仁	修士	マルチパス環境における地上デジタル放送波の新しい品質評価法の検討

## 平成23年度 論文優秀賞・受賞学生

夏目 将利	学部	周波数領域型低コヒーレンス干渉法を用いたシリコン基板温度計測
中村 祐輝	学部	コヒーレントな電子線の強度相関の解析
木野 友和	学部	低圧需要家への無効電力補償装置導入による配電系統の損失低減に関する研究
平田 雄紀	学部	カメラ画像認識を利用したLED可視光通信用ダイバーシティ技術の開発
伊藤 翔平	学部	クラスタリングにより作成したマスクパターンを用いた行動認識
竹本 知史	学部	低温の電気二重層におけるイオンの挙動
平野 豪士	修士	アーク遮断試験に対する実験計画法の適用の検討
三ツ口真司	修士	燃料電池応用に向けたカーボンペーパーへのカーボンナノウォールの作製
辻 琢矢	修士	誤り訂正可否情報とC/N情報を用いたビタビ復号の改善

## 平成23年度事業報告

(期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日)

- 第45回 電気会総会、理工同窓会総会  
平成23年6月19日(日) 午前9時30分～14時30分  
電気会総会 名城大学 共通講義棟南館 S401室 理工同窓会総会、講演会 名城大学 共通講義棟南館 S401室  
理工同窓会懇親会 タワー75 15階レセプション
- 研究室対向ソフトボール大会支援とOBチーム参加 平成23年9月10日(土) 参加者18名
- 第18回電気会新春懇談会  
平成24年1月21日 名古屋ガーデンパレス 17時～20時  
ミニ講演会 講師 名城大学OB (株)シーテック 山田祐司 参加者 97名(電気会への入会初年度のみ会費を半額)
- 電気電子工学科 卒業式(卒業証書授与式)・卒業祝賀会  
平成24年3月16日 卒業証書授与式 名城大学 S102 13時～15時  
卒業祝賀会 名城大学 グラン亭 16時～18時  
電気会出席者 8名 記念品 名刺入れ 優秀論文発表 表彰9名 図書券¥5,000  
電気会新入会員の会費 ¥10,000徴収
- 電気電子工学科先生との意見交換会 平成23年11月10日
- 役員会、評議委員会開催 1回/月 役員会 7月26日、9月21日、10月22日、11月10日、12月20日、2月24日、(4月17日)  
評議委員会 (5月18日)
- 卒業研究発表と電気会から聴講 平成24年2月24日、27日 2月24日 電気会5名、2月27日 電気会1名
- 名城大学電気会ホームページの更新 (平成21年6月公開)  
電気会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/>  
理工同窓会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/>の学科同窓会からリンクする。

## 平成24年度事業計画

(期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日)

- 新入会員および学生への援助  
平成24年度に卒業される方は、電気会の会員となる。就職説明会への講師派遣等
- 企業への求人活動  
OB企業、今まで支援企業の優先求人活動を計画する。
- その他一般行事  
・第46回電気会総会 平成24年6月17日(日)  
・電気電子工学科の先生との意見交換会  
・研究室対抗ソフトボール大会支援とOBチーム参加 平成24年9月に予定  
・卒業式(卒業証書授与式)参加  
・卒業祝賀会電気電子工学科との共催
- 電気会ホームページ(24年度作成)の記載内容更新  
電気会会誌に関する費用(印刷代、郵送料 7,000名分)を削減するためにホームページが見えなくて郵送を要望する方だけに削減したい。  
トピックスがあれば、ホームページに記載しますのでご連絡願います。
- 名城大学電気会50周年記念事業について  
日時 平成25年1月27日(日)  
場所 名古屋 栄 名古屋ガーデンパレス 15時30分より受付  
第1部 名城大学電気電子工学科のあゆみ「写真解説」 米澤 彰賢 16時～  
第2部 記念講演 CBCアナウンサー 小堀 勝啓 17時～  
第3部 パーティー 18時～20時

平成23年度名城大学電気会会計報告  
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

Table with 3 columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 前年度繰越金, 新入会員会費, 会報広告費, 雑収入, 寄付金, 合計.

※1: 理工同窓会交付金 576,000円を含む ※2: 年度内収入 2,367,074円
※3: 寄付金内訳 震災義援金 21,226円 役員会・評議委員会 情報交換会 11,000円 教員との情報交換会 震災義援金 30,194円 卒業祝賀会

Table with 3 columns: 項目, 予算, 決算. Rows include 会議費, 学生会員援助費, 新入会員援助費, 会報印刷費, 慶弔費, 通信費, 行事事務費, 50周年記念行事積立, 寄付金, 予備費, 小計, 次年度繰越金, 合計.

電気会50周年記念行事積立金 1,500,000

※4: 寄附金内訳 21,226円 9/22役員会・評議委員会募金 30,194円 3/27卒業祝賀会募金 50,000円 9/22電気会から 780円 送金手数料

会計監査報告

諸帳簿の記載、現金、貯金等の額に誤りの無いことを確認した。
会計の運用は全面的に良好であることを認める。
以上の結果、本会の財産管理は適正であることを認める。
平成24年4月16日

会計監査人 田中 祥弘 印 水野 光雄 印

名城大学電気会役員(案)(平成24年度) \*印改選

Table with 6 columns: 役員, 氏名, 卒年, 役員, 氏名, 卒年. Lists various roles like 名誉会長, 会長, 副会長, 幹事, etc.

訃報 井原丈夫元電気会会長ご逝去

電気会会長を務められた井原丈夫様が平成23年5月27日にご逝去されました。井原様には名城大学電気会40周年記念事業の委員長として、電気会の活動に大変なご尽力を尽くされました。会員の皆様には色々とお世話になったと思います。享年75歳でした。ここに電気会としてご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

平成24年度電気会評議員(案)

Table with 2 columns: 氏名, 卒年. Lists names and graduation years of potential council members.